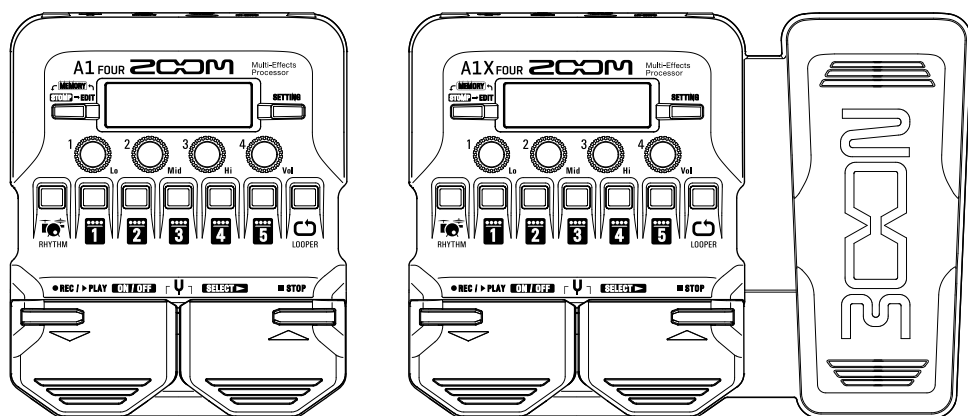


A1 FOUR/A1X FOUR

Multi-Effects Processor



クイックガイド

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください



オペレーションマニュアルは、ZOOM の WEB サイト (www.zoom.jp/docs/a1four_a1xfour) からダウンロードできます。

このページには、PDF 形式と ePub 形式のファイルがあります。

PDF は、紙に印刷する場合やパソコンでの閲覧に向けたファイル形式です。

ePub は、スマートフォンやタブレットでの閲覧に向けたファイル形式で電子書籍リーダーで読むことができます。

© 2019 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社へ帰属します。

このマニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

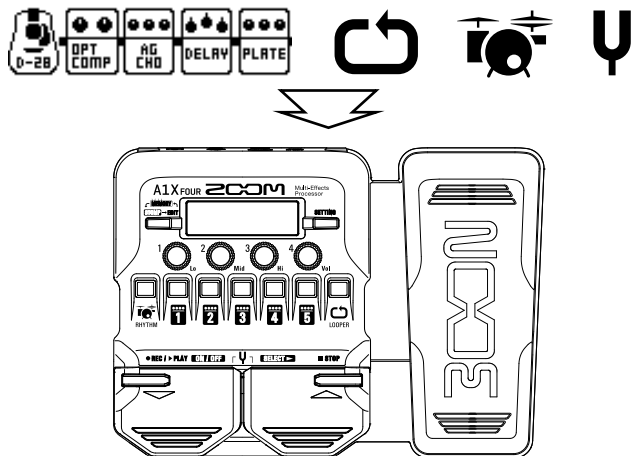
本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

Windows® は、Microsoft® 社の商標または登録商標です。Mac は、Apple Inc. の商標または登録商標です。

A1 FOUR/A1X FOUR の概要

A1 FOUR/A1X FOUR には、楽器の音色を変化させる沢山のエフェクトが搭載されており、それらを最大5個組み合わせて同時に使用することが可能です。更に録音したフレーズをループ再生するルーパーやリズムマシン、チューナーも内蔵しています。

また MAA-1 を使用することで、マイクを使用する楽器にもエフェクトをかけることができます。



■操作モード

A1 FOUR/A1X FOUR には 3 つのモードがあり、目的に応じて使い分けながら演奏します。

• MEMORY モード

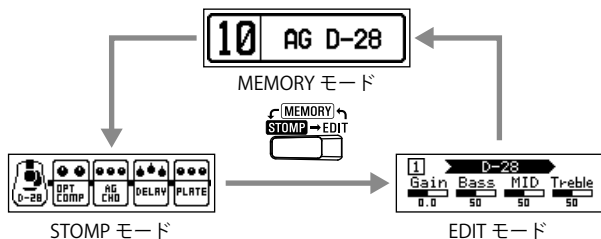
フットスイッチを使用してパッチメモリーを選択するモードです。

• STOMP モード

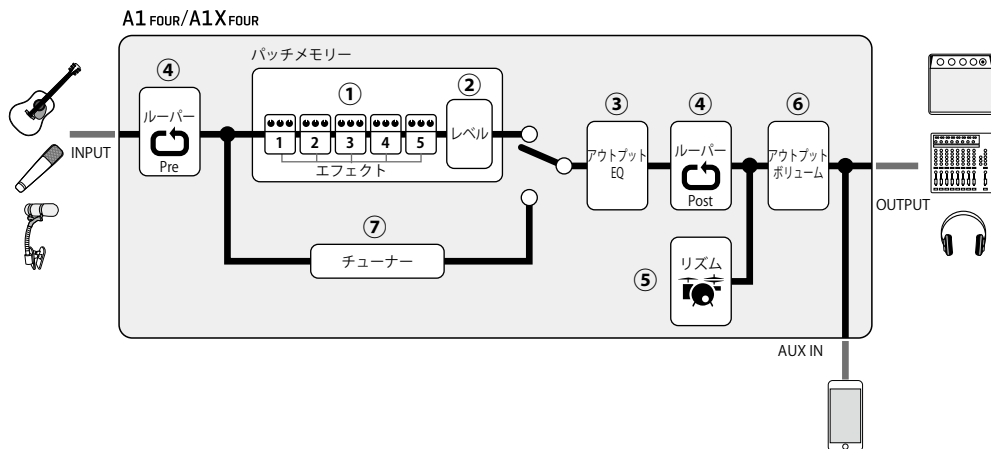
フットスイッチを使用してパッチメモリーに登録されたエフェクトの ON/OFF を切り替えるモードです。

• EDIT モード

パッチメモリーで使用するエフェクトのタイプやパラメーターをエディットするモードです。



■信号の流れ



- ① 入力された楽器の音は、エフェクト 1～5 を順に経由します。
エフェクトは好みの順に 5 つまで選択することができます。
- ② パッチメモリーのレベルを調節します。
パッチメモリーごとにレベルを調節することができます。
- ③ 全体の音質を調節します。
A1 FOUR/A1X FOUR の音質を調節します。パッチメモリーを切り替えても設定は保持されます。
- ④ 録音したフレーズをループ再生することができます。
演奏したフレーズを録音して、最大でモノラル 30 秒のループフレーズを作ることができます。ルーパの配置は Pre と Post から選択することができます。
- ⑤ 内蔵のリズムパターンでドラム音源を再生することができます。
内蔵されたリズムに合わせて演奏することができます。
- ⑥ 全体のレベルを調節します。
A1 FOUR/A1X FOUR の音量を調節します。パッチメモリーを切り替えても設定は保持されます。
- ⑦ 接続した楽器のチューニングを行います。
ギター用チューナー、クロマティックチューナーを使用することができます。

電池を入れる

1. 製品底面の電池ボックスの蓋を開け、単三電池を 4 本入れる

NOTE

初期設定では ECO モードが “ON” に設定されており、操作が行われないうちに 10 時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

ECO モードは、設定画面で “OFF” にすることもできます。

接続する

1. 再生機器の音量を最小にする

2. INPUT 端子に楽器を接続する

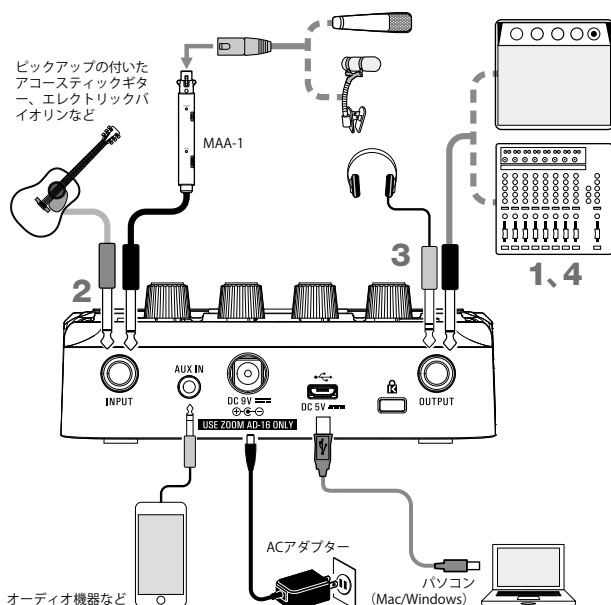
マイクを接続する場合は、MAA-1 を使用します。

3. OUTPUT 端子に PA システムやヘッドフォンを接続する

4. 再生機器の音量を上げる

NOTE

音が歪む場合は、楽器本体の出力を下げてください。



HINT

- 専用の AC アダプター (ZOOM AD-16) を接続すると、AC 電源を使用できます。
- USB 端子からの電源供給でも動作します。
- AUX IN 端子にオーディオ機器などを接続すると、外部の音源に合わせて演奏できます。

Mac/Windows 対応アプリケーション「Guitar Lab」を使用すると、パッチメモリー管理やエフェクトの編集・追加が可能です。

■マイクを接続する場合

MAA-1 を使用して、ピックアップを搭載しないバイオリンなどの弦楽器、トランペットやサックスなどの管楽器、ハーモニカなどを **A1 FOUR/A1X FOUR** で楽しむことができます。

1. MAA-1 背面の電池ボックスの蓋を開け、単三電池を 2 本入れる
2. マイクを MAA-1 に接続する
3. MAA-1 を **A1 FOUR/A1X FOUR** の INPUT 端子に接続する
4. MAA-1 の電源を入れる

-  を ON の位置にする

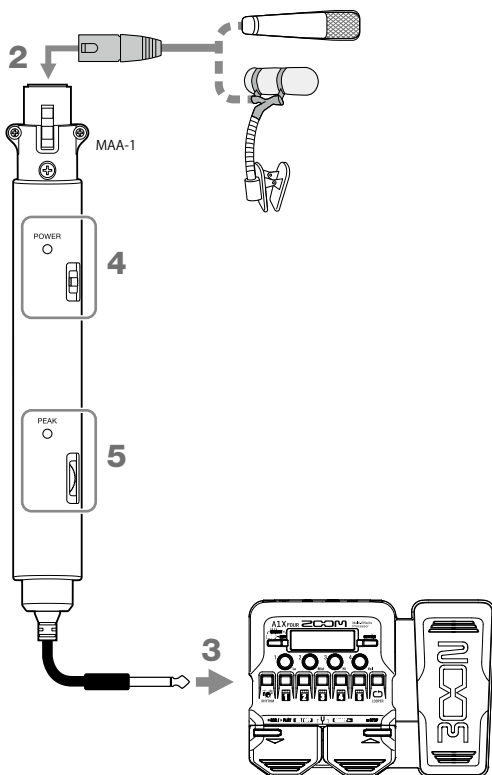
POWER
○ が赤色に点灯します。
コンデンサーマイクなどファンタム電源が必要な機器を接続した場合は、+48V の位置にします。

5. MAA-1 の入力レベルを調節する

-  を回す

PEAK
○ が緑色に点灯するように調節します。

入力レベルが大きすぎるときは ^{PEAK} ○ が赤色に点灯します。



NOTE

ファンタム電源に対応していない機器に接続する場合は、 を +48V の位置にしないでください。機器が破損することがあります。

パッチメモリーを選択する（MEMORY モード）

A1_{FOUR}/A1X_{FOUR}には、50 個のパッチメモリーがあらかじめ保存されています。
MEMORY モードでは、使用するパッチメモリーを選択します。

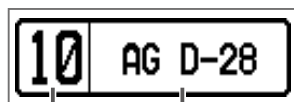
●パッチメモリー

エフェクトの ON/OFF やパラメーターの設定値を記録したものです。エフェクトの呼び出しや保存はパッチメモリー単位で行います。

●バンク

パッチメモリーを 10 個単位でひとまとめにしたものです。

A1_{FOUR}/A1X_{FOUR}を起動すると、
MEMORY モードの画面が表示されます。



パッチメモリー番号 パッチメモリー名

■パッチメモリーを切り替える

- ・ を押す

次のパッチメモリーに移ります。

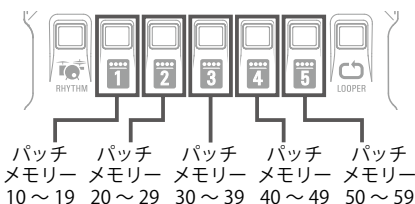
- ・ を押す

前のパッチメモリーに移ります。

■バンクを切り替える

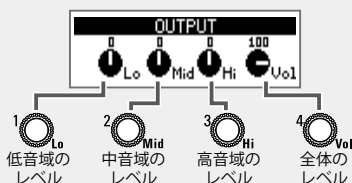
- ・ ～ を押す

選択されているバンクのLED が点灯します。



全体の音質と出力レベルを調節する

MEMORY モードで ～ を回すと、
A1_{FOUR}/A1X_{FOUR} 全体の音質と出力レベルを調節できます。

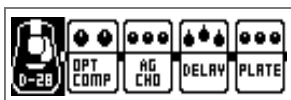


エフェクトを ON/OFF する (STOMP モード)

STOMP モードでは、各パッチメモリーに使用されているエフェクトの ON/OFF をフットスイッチで切り替えることができます。

1. STOMP モードに切り替える

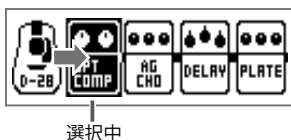
- (MEMORY) **STOMP → EDIT** を押す



2. エフェクトを選択する

- **SELECT** を押す

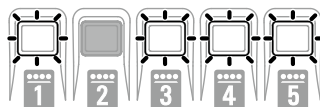
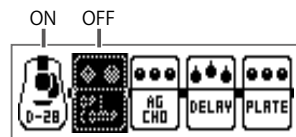
選択対象が右に移動します。



3. エフェクトの ON/OFF を切り替える

- **ON / OFF** を押す

選択中のエフェクトの ON/OFF が切り替わります。



HINT

エフェクトの位置に対応した **1** ~ **5** を押しても、ON/OFF を切り替えることができます。

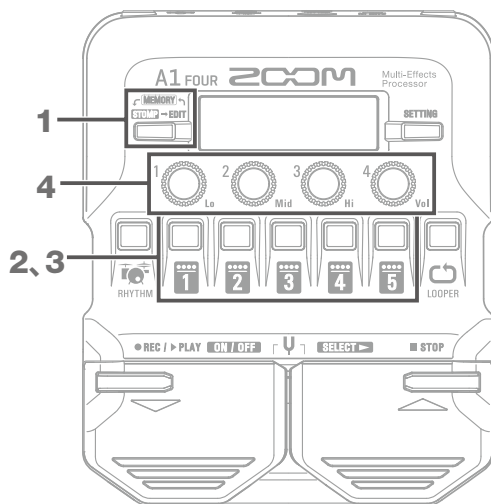
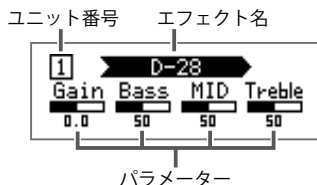


エフェクトを調節する（EDIT モード）

EDIT モードでは、パッチメモリーで使用されているエフェクトの変更やパラメーターの調節を行います。EDIT モードで編集するパッチメモリーは、あらかじめ MEMORY モードで選択しておきます。

1. EDIT モードに切り替える

- **MEMORY** → **STOMP** → **EDIT** を押す



2. 編集するエフェクトを選択する

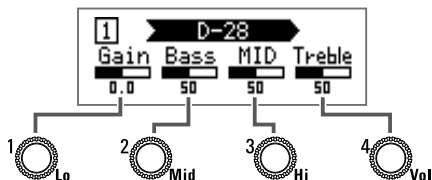
- **1** ~ **5** を押す

3. エフェクトの ON/OFF を切り替える

- 手順 2 で押した **1** ~ **5** をもう一度押す



4. エフェクトのパラメーターを設定する



パラメーターの数が 5 つ以上のエフェクトでは、**4** **Vol** で面画を切り替えます。

NOTE

AUTO SAVE 機能を ON にすると、エフェクトの変更内容は自動的に保存されます。

●エフェクトタイプ

音を響かせたり（リバーブ）、揺らしたり（コーラス）、歪ませたり（ディストーション）と、様々なエフェクトがエフェクトタイプとして登録されています。

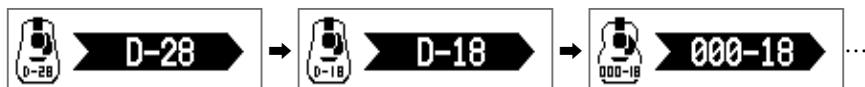
●カテゴリ

エフェクトは種類ごとにカテゴリ分けされています。エフェクトを選択するときにカテゴリごとに切り替えることができます。

■エフェクトタイプを選択する

- ・  /  を押す

次 / 前のエフェクトタイプに移ります。



NOTE

以下の場合、"PROCESS OVERFLOW" と表示され、エフェクトがバイパス状態になります。いずれかのエフェクトタイプを変更するか削除すると、バイパス状態を解除できます。

- ・ 処理能力の限界を超えた場合
- ・ パラメーターが 5 個以上のエフェクトを 3 個以上使おうとした場合



HINT

各エフェクトの説明は Guitar Lab で確認することができます。

■エフェクトのカテゴリを選択する

- ・  を押しながら  を押す

カテゴリ名が表示された後、カテゴリの先頭にあるエフェクトタイプに変更されます。



HINT

A1X_{FOUR}でカテゴリ「PEDAL」のエフェクトを選択すると、エクスプレッションペダルを使用したエフェクト操作ができます。

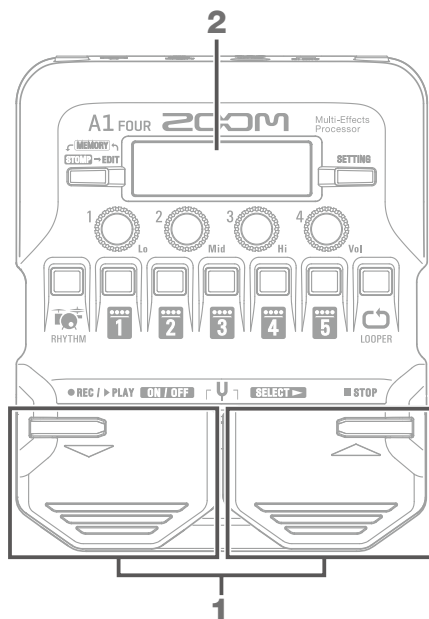
チューナーを使用する

接続した楽器のチューニングを行います。

1. チューナーに切り替える

- ・  と  を同時に押す

チューナー終了:  または  を
押す



2. チューニングする

- ・ チューニングしたい音を出し、ピッチを調整する

最寄りの音名とピッチのズレが画面と LED に表示されます。

ピッチが合うと、メーター中央の LED が緑色に、左右の LED が赤色に点灯します。

ピッチのズレ



最寄りの音名



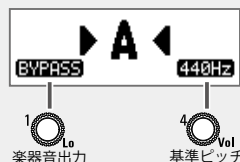
←低い

チューニングが
合っている

高い→

チューナーの設定

- ・ 、 を回すと、チューナー使用時の出力 (BYPASS/MUTE)、基準ピッチを設定できます。
- ・  を押してチューナー設定画面に切り替えると、チューナータイプやフラットチューニングを設定できます。



フィードバックを抑える

エフェクトで Anti FB（アンチフィードバック）を選択すると、アンチフィードバック機能を使うことができます。フィードバックしている周波数帯域を検出・カットし、フィードバックを抑えることができます。

1. EDIT モードに切り替える

- を押す

2. Anti FB を割り当てるエフェクトを選択する

-  ~ を押す

効果を最大限に発揮するには、Anti FB を先頭に割り当ててください。

3. エフェクトのカテゴリを選択する

- を押しながら を押して「FILTER」を選択する

4. エフェクトのタイプを選択する

- または を押して「Anti FB」を選択する

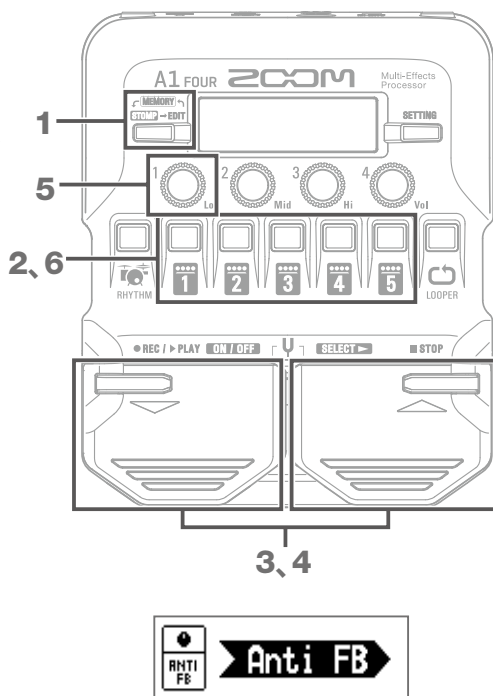
5. エフェクトを ON に切り替える

-  ~ をもう一度押す

ディスプレイに「Scanning」と表示され、フィードバック周波数帯域の検出が開始されます。周波数帯域の検出が終了すると表示が消え、アンチフィードバック機能が ON になります。

HINT

「FREQ」パラメーターを「AUTO」以外に設定すると、周波数帯域を固定することができます。



リズムを使用する

内蔵されたリズムに合わせて演奏することができます。

1. リズムに切り替える

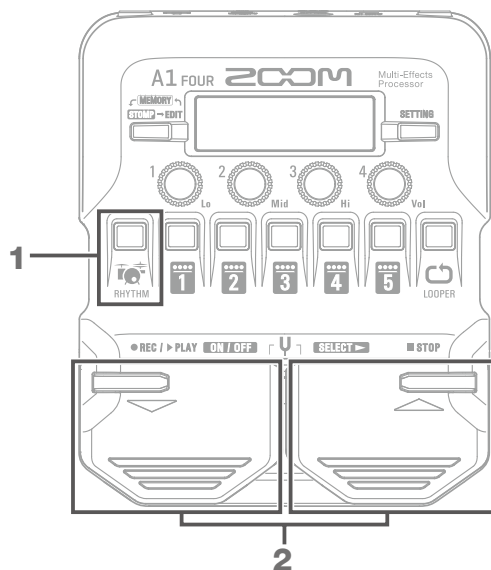
-  を押す

元のモードに戻る：  を押す

2. リズムを再生する

-  を押す

リズム停止：  を押す



リズムの設定

1  ~ 4  を回すと、リズムの設定を変更できます。



ルーパーを使用する

演奏したフレーズを録音して、最大でモノラル 30 秒のループフレーズを作ることができます。

1. ルーパーに切り替える

-  を押す
LOOPER

元のモードに戻る：  を押す
LOOPER

2. フレーズを録音する

-  を押す

録音終了：  を押す

キャンセル：  を押す

3. フレーズを再生する

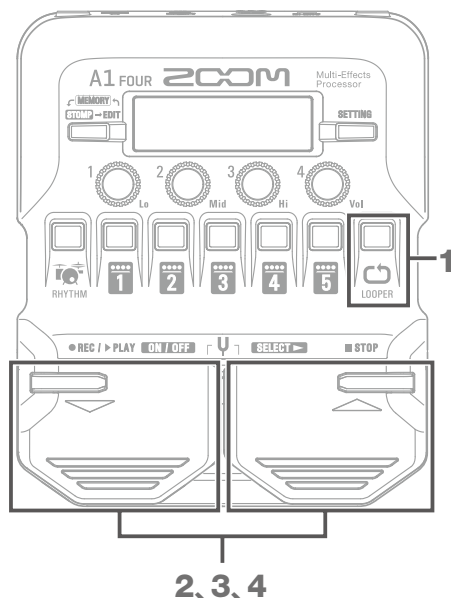
-  を押す

再生停止：  を押す

4. オーバーダビングする

- フレーズの再生中に  を押す

再生に戻る：  を押す



HINT

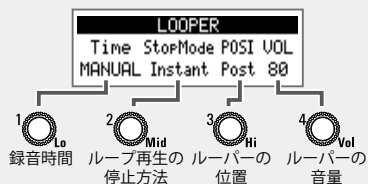
フレーズの停止中に  を長押しすると、フレーズを消去できます。

ルーパーの設定

- 1  ~ 4  を回すと、ルーパーの設定を変更できます。

- 録音時間やルーパーの位置、テンポを変更すると、録音済みのフレーズは消去されます。

- ルーパーの位置をエフェクトの前「Pre」または後「Post」に切り替えることができます。「Pre」にするとエフェクトのかかっていない音をループさせることができ、パッチメモリーの切り替えやエフェクトの編集で音を変えることができます。

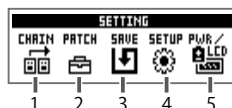


設定一覧

SETTING

を押すと、設定画面が表示されます。

アイコン位置に対応する **1** ~ **5** を押して、以下の設定を行います。



1. CHAIN（エフェクトの並べ替え）

現在選択中のパッチメモリーのエフェクトが一覧表示され、移動元・移動先の **1** ~ **5** を押して順序を入れ替えます。

2. PATCH（パッチメモリー名の編集、音量の調節）

項目	説明
CHAR	パッチメモリー名のカーソル位置の文字を変更します。
◀ ▶	パッチメモリー名のカーソル位置を移動します。
SKIP	パッチメモリー名のカーソル位置の文字を文字種単位で変更します。
VALUE	パッチメモリーの音量を調節します。

3. SAVE（パッチメモリーの保存、入れ替え）

パッチメモリーの上書き保存：と、**1** ~ **5** でパッチメモリー番号を選択してから、とを同時に押す

パッチメモリー内容の入れ替え：上記の操作時に  を回して SWAP を選択する

4. SETUP（動作方法の設定）

項目	説明
BPM	各エフェクト・リズム・ルーパーで使用するテンポを設定します。
AUTO SAVE	エフェクトのパラメーターを変更したときに、その内容を自動保存します。OFFにした場合、パッチメモリーを切り替えるときに保存確認の画面が表示されます。
PRESELECT	番号の離れたパッチメモリーに直接切り替えます。  と  でパッチメモリーを選択し、  と  を同時に押して切り替えます。
BANK HOLD	 と  で切り替えられるパッチメモリーを、同じバンク内だけに限定します。

5. PWR/LCD（電源とディスプレイに関する設定）

項目	説明
BATTERY	電池残量を正確に表示するために、使用する電池の種類を指定します。
ECO	操作が行われないまま 10 時間が経過すると、自動的に電源が切れます。
BACKLIGHT	ディスプレイのバックライトの点灯時間を選択します。
CONTRAST	ディスプレイのコントラストを調節します。

HINT

各設定の詳細については、オペレーションマニュアルを参照してください。

仕様

■ A1_{FOUR}/A1X_{FOUR}

同時使用エフェクト数	5
パッチメモリー数	50
サンプリング周波数	44.1 kHz
A/D 変換	24-bit 128 倍オーバーサンプリング
D/A 変換	24-bit 128 倍オーバーサンプリング
信号処理	32-bit
ディスプレイ	ドットマトリクス LCD (128 × 32 dot)
入力	INPUT
	標準モノラルフォンジャック 定格入力レベル: -20 dBu 入力インピーダンス (ライン): 470 kΩ
	AUX IN
	ステレオミニジャック 定格入力レベル: -10 dBu 入力インピーダンス (ライン): 1 kΩ
出力	OUTPUT
	標準ステレオフォンジャック (ライン/ヘッドフォン兼用) 最大出力レベル: ライン +2 dBu (出力負荷インピーダンス 10 kΩ 以上時) ヘッドフォン 17 mW + 17 mW (負荷 32 Ω 時)
入力 S/N	120 dB
ノイズフロアー (残留ノイズ)	-97 dBu
電源	AC アダプター DC9V センターマイナス、500 mA (ズーム AD-16) 単三乾電池 4 本 連続駆動時間 約 18 時間 (アルカリ電池使用、LCD バックライト OFF 時)
USB	USB MIDI USB Micro-B ※ USB 端子からの給電も可能です。 ※ 充電専用ケーブルを使用した場合、給電以外の機能は使えません。
外形寸法	A1 _{FOUR} 156 mm (D) x 130 mm (W) x 42 mm (H) A1X _{FOUR} 156 mm (D) x 216 mm (W) x 52 mm (H)
重量	A1 _{FOUR} 340 g (電池を除く) A1X _{FOUR} 610 g (電池を除く)

■ MAA-1

入力	バランス入力 (XLR: 2 番ホット) 入力ゲイン: +3 ~ +30 dB 入力インピーダンス: 10 kΩ 最大入力レベル: +4 dBu ファンタム電源 +48 V
出力	標準モノラルフォンジャック 規定出力レベル: -20 dBu 最大出力レベル: +7 dBu 出力インピーダンス: 1 kΩ
電源	単三乾電池 2 本 連続駆動時間 (ファンタム電流 3 mA 時) 約 15 時間 (アルカリ電池使用) 約 15 時間 (ニッケル水素蓄電池使用)
外形寸法	177 mm (D) x 23 mm (W) x 25 mm (H)
重量	70 g (電池を除く)

※ 0 dBu = 0.775 V

※ 電池持続時間は当社試験法によるもので、使用条件により大きく変わります。



株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3
www.zoom.co.jp